



<https://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

## 大図研京都ワンデイセミナーのご案内

**「入江 伸氏（元慶應義塾大学メディアセンター本部）が隠さず**

**話す。これまでのこと。これからの大学図書館のこと。」**

2007年7月 慶應義塾大学とGoogleによるGoogle Books Library Project 提携。  
2013年10月 8大学による電子学術書共同利用実験開始（幹事校：慶應義塾大学）。  
2018年3月 早稲田大学図書館・慶應義塾大学メディアセンター共同運用図書館システムにEx Libris社のAlma・Primo VEの採用を決定。等、慶應義塾大学メディアセンターは、国内における大学図書館のけん引役として取り組んできました。これらの取り組みはあくまで氷山の一角であり、長期ビジョンのもとに地道な取り組みがあったことは言うまでもありません。その慶應義塾大学メディアセンターで務めあげ、2021年3月に定年退職された入江伸さんを京都にお呼びして、入江さんが描いていた近未来の大学図書館像について語っていただきます。

入江さんは、大図研京都のワンデイセミナーにも過去2回（2013年「大学と電子書籍」の現状と未来、2018年「これからの大学図書館システムを語る」）講演をしていただいております。今回 COVID-19 が何とか落ち着いてきたこのタイミングで3回目の登場とはありますが、入江さんがこれまで語れなかったことや、これからどうあるべきと考えているかなどを一緒に聞きませんか？

日 時：2021年11月6日（土） 13:00～15:00（12:30 開場）

会 場：オンライン（Zoom） 参加費：無料

申込方法：以下の URL のフォームからお申し込みください

<https://www.daitoken.com/kyoto/event/20211106.html>

（申込締切 11月1日（月） 17:00）

### [目 次]

|  |   |    |
|--|---|----|
| 大図研京都ワンデイセミナーのご案内「入江 伸氏（元慶應義塾大学メディアセンター本部）が隠さず話す。これまでのこと。これからの大学図書館のこと。」 | … | 1  |
| 大学図書館研究会京都地域グループ第44回京都地域グループ総会議案   | … | 2  |
| 第1号議案  | … | 2  |
| 第2号議案  | … | 6  |
| 第3号議案  | … | 8  |
| 第4号議案  | … | 8  |
| 議事メモ・補足事項  | … | 9  |
| 会費ご納入のお願い  | … | 10 |

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：[kyoto@daitoken.com](mailto:kyoto@daitoken.com)（大学図書館研究会京都地域グループ）

URL：<https://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

## 大学図書館研究会京都地域グループ

### 第 44 回京都地域グループ総会議案

#### 【第 1 号議案】

2020/2021 年度(2020.7～2021.6)活動総括及び 2021/2022 年度(2021.7～2022.6)活動方針

#### 1.2020/2021 年度総括

##### (1) 研究交流活動

以下の 3 件の企画を実施しました。

名称：大図研京都ワンディセミナー「Go to レファレンス～ウィズコロナ時代におけるレファレンスの在り方を再定義してみませんか～」

日時：2020 年 11 月 14 日（土）13:00-16:00

会場：ZOOM

講師：矢崎美香 氏（九州女子大学 准教授）

内容：リモート環境下でのレファレンス～レファレンス・インタビューのコツ  
レファレンスの体系的な構築に向けて～レファレンス・カルテの導入

参加者数：30 名

名称：大図研関西 3 地域グループ合同例会「Alma 導入の苦労話を聞こう」一体験者が語る導入のポイントとはー

日時：2021 年 1 月 10 日（日）13:00-15:00

会場：ZOOM

講師：飯野勝則 氏（佛教大学図書館 専門員）

内容：Alma 導入の経過や導入後の状況について伺った。

参加者数：43 人

備考：京都・大阪・兵庫地域グループ共催

名称：大学図書館研究会京都地域グループ DX セミナー「アフターコロナ時代の出版と図書館」

日時：2021 年 2 月 13 日（土）～2021 年 2 月 22 日（月）

事前コンテンツ公開と質問受付

2021 年 2 月 23 日(火・祝日) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師によるライブセッション

会場：ZOOM

講師：湯浅 俊彦氏（追手門学院大学 教授）

内容：事前に講演内容をネットで視聴していただき、質問を後日受け、その質問をもとにライブ配信の中で講師の先生と質疑を繰り広げました。

参加者数：27 名

(2) グループ報

2020/2021 年度刊行分につきましては、計画的発行を目指し編集作業を行いました。一部、発行遅延が生じる号がありました。2020/2021 年度発行したグループ報の目次は、次のとおりです。

1) グループ報 No.337 (2020/08/15 発行)

- ・ 大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会を開催しました
- ・ 大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会議案
- ・ 第 1 号議案
- ・ 第 2 号議案
- ・ 第 3 号議案
- ・ 議事メモ・補足事項
- ・ 会費納入のお願い

2) グループ報 No.338 (2020/10/15 発行)

- ・ 大図研京都ワンディセミナー 終了しました
- ・ グループ委員 挨拶
- ・ 会費納入のお願い

3) グループ報 No.339 (2020/12/15 発行)

- ・ 大図研関西 3 地域グループ合同例会 終了しました
- ・ 大図研京都ワンディセミナー 「Go to レファレンス～ウィズコロナ時代におけるレファレンスの在り方を再定義してみませんか～」参加報告 こんな時だからこそ。磨こう、見直そうレファレンス (渡邊 さよ)
- ・ 本の紹介 第 10 回『中国のマンガ<連環画>の世界』(長坂 和茂)
- ・ 会費納入のお願い

4) グループ報 No.340 (2021/2/15 発行)

- ・ 大図研関西 3 地域グループ合同例会 終了しました
- ・ 小特集：大図研関西 3 地域グループ合同例会 「Alma 導入の苦労話を聞こう」－体験者が語る導入のポイントとは－」参加報告
- ・ 大図研 関西 3 地域グループ合同例会参加報告 (小村 愛美)
- ・ 大図研関西 3 地域グループ合同例会「Alma 導入の苦労話を聞こう」－体験者が語る導入のポイントとは－」参加報告 (今野 創祐)

5) グループ報 No.341 (2021/4/15 発行)

- ・ 大学図書館研究会京都地域グループ DX セミナー 終了しました
- ・ 大図研 京都地域グループ DX セミナー「アフターコロナ時代の出版と図書館」参加記 (坂本 雅)
- ・ グループ報の電子送信および冊子体の廃止のアンケートについて
- ・ 会費納入のお願い

6) グループ報 No.342 (2021/6/15 発行)

- ・ 大学図書館問題研究会京都地域グループ第 44 回京都地域グループ総会のご案内

- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第44回京都地域グループ総会議案
- ・会費納入のお願い

### (3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

大学図書館研究会の名称変更に伴い、トップページなど名称変更に取り組みました。デザインの改修、古くなったページの更新などを行いました。メーリングリストは新入会員にあわせ、適宜追加作業を行いました。

さらに Twitter の活用を図り、772 アカウント (2021.7.30 現在) のフォロワーを得ています。ワンディセミナーや合同例会の告知を行うとともに、他の地域グループのツイート等も積極的にリツイートいたしました。

また、メールマガジンは、「大図研京都地域グループ News Letter」として、no.271 (2020年9月7日) から no.286 (2021年8月1日) を発行しました。グループ活動をお知らせするものとして、グループ委員会議事録、グループ企画案内を紹介する記事を配信しています。また、図書館関係のイベント案内を不定期で配信いたしました。

### (4) 組織活動

51名の地域グループ会員の皆様に支えていただき活動しました。2020/2021年度は退会者が4名、また新規入会者は1名でした。ワンディセミナーは多くの非会員に対して大図研や京都地域の活動をアピールする場でもあり、会員獲得に努めましたが、引き続き次期に課題を残す結果となりました。

### (5) 財務

活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上しました。オンラインによる開催のため、多くの参加者を得ながらも参加費をえられませんでした。会場費は圧縮されました。

### (6) 広報とデザイン

ワンディセミナー等において、引き続きポスター・チラシ作成等の広報活動に努めました。Webサイトのデザインを変更しました。

## 2. 2021/2022年度活動方針

### (1) 研究交流活動

会員の発表の場としての研究交流活動の企画に積極的に取り組みます。

会員の知的交流の場であると共に非会員への広報でもあるという意味を再認識し、組織拡大への貢献も大きな柱といたします。

勉強会的な企画だけでなく、交流を軸とした企画も検討し、年2回程度は開催できるようにします。

ウィズコロナ (アフターコロナ) を考慮しながら、引き続き、Web会議方式も取り入れながら開催していきたいと思えます。

## (2) グループ報

定期発行を心掛けるとともに、引き続き広く寄稿を求め、今後も、会員の皆さまへの情報提供・会員間での情報共有を目標とし、内容の充実に努めます。

## (3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

古くなったページやメタデータの更新を行います。メーリングリストは入会や退会、更新の処理を適宜行います。さらに広報活動の一環として Twitter アカウントの積極的活用を継続します。

また、メールマガジンについて、より読まれるような内容にする工夫を継続するとともに、配信のタイミングについて検討していきます。同時に、メーリングリスト"ゆりかもめ"についてもその目的である「会員相互の親睦と交流を盛んにすること」の達成を目指し、会員による自由な投稿を促進するよう検討を重ねます。

## (4) 組織活動

2021/2022 年度より 1 名の新規入会者を迎え、会員数は 48 名となりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員同士が集合してのイベントの開催が難しくなっています。ワンディセミナー、各種イベント、グループ報、ホームページ、メールマガジン、SNS 等を通じ、会員相互の交流が図れるような活動に努めます。また、オンラインでのイベントは非会員でも参加の敷居が低くなっていることを鑑み、会員の獲得に努めます。

## (5) 財務

活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上しますが、グループ報の電子的な発送やオンラインでの研究交流活動企画のため経費の圧縮が見込まれます。グループ会費の適切な金額について検討を行います。

## (6) 広報とデザイン

ワンディセミナー等において、引き続き Web サイト・ポスター・チラシ作成等の広報活動に努めます。今後も特定の委員に業務が集中しないよう体制の見直しを検討し、さらに効果的な広報を目指します。

## 【第2号議案】

2020/2021 年度決算案 (2020.7~2021.6)

(単位 :  
円)

|         |        |         |
|---------|--------|---------|
| 総収入     | 総支出    | 差引残高    |
| 601,738 | 44,953 | 556,785 |

| ■収入         |         |         |         |
|-------------|---------|---------|---------|
| 項目          | 予算      | 決算      | 差引額     |
| 前年度繰越金      | 487,736 | 487,736 | 0       |
| 前納会費        | 102,000 | 62,000  | -40,000 |
| 未納会費        | 8,000   | 32,000  | 24,000  |
| その他会費       | 0       | 2000    | 2,000   |
| 地域グループ助成金   | 18,000  | 18,000  | 0       |
| セミナー参加費     | 10,000  | 0       | -10,000 |
| 大図研出版物支部卸頒布 | 5,000   | 0       | -5,000  |
| 利子          | 2       | 2       | 0       |
| 合計          | 630,738 | 601,738 | -29,000 |

| ■支出          |         |        |         |
|--------------|---------|--------|---------|
| 項目           | 予算      | 決算     | 差引額     |
| 会報           | 60,000  | 30,971 | 29,029  |
| 研究交流会費       | 250,000 | 10,280 | 239,720 |
| 大図研出版物支部卸購入  | 3,080   | 3,152  | -72     |
| 事務費          | 10,000  | 550    | 9,450   |
| 地域グループ委員会活動費 | 10,500  | 0      | 10,500  |
| 特別事業費        | 20,000  | 0      | 20,000  |
| 予備費          | 277,158 | 0      | 277,158 |
| 合計           | 630,738 | 44,953 | 585,785 |

2020/2021 年度大学図書館研究会京都地域グループ会計  
監査報告

帳簿および現金は適正に保管・記載されていた。

2021年8月24日

今野創祐

(印)

## 2021/2022 年度予算案 (2021.7~2022.6)

(単位：円)

|             |         |
|-------------|---------|
| □収入         |         |
| 項目          |         |
| 前年度繰越金      | 556,785 |
| 会費          | 96,000  |
| 地域グループ助成金   | 18,000  |
| セミナー参加費     | 10,000  |
| 大図研出版物支部卸頒布 | 5,000   |
| 利子          | 2       |
| 合計          | 685,787 |

|              |         |
|--------------|---------|
| □支出          |         |
| 項目           |         |
| 会報           | 60,000  |
| 研究交流会費       | 250,000 |
| 大図研出版物支部卸購入  | 3,152   |
| 事務費          | 10,000  |
| 地域グループ委員会活動費 | 10,500  |
| 特別事業費        | 20,000  |
| 予備費          | 332,135 |
| 合計           | 685,787 |

## 決算

※今年度は支出が少なく、繰越金が増加しました。

※その他会費は 2021/2022 年会費の納入です。

※会報は合併号があったこと、同時発送により予算より決算が少なくなりました。

※研究交流会費を執行しました。会場料金が不要だったこと、

Web での開催のため講師謝礼の減少、会員の発表の回があったことで予算より決算が少なくなりました。

※グループ会員増のため、特別事業費を計上しましたが、新規学生会員はありませんでした。

※大図研出版物支部卸購入があり、振込手数料が増加しました。

※事務費の内訳は振替受払通知票等郵送通知料金です。

## 予算

※会費項目を統合しました。(48名×2000円)

※会報は電子的な送信を実施し、印刷・発送を最小限度にするとともに経費を削減できるか最小限度の印刷・発送を業者発注できないかなど検討します。

※活発な研究交流会を行うため今年度どおり研究交流会費として計上します。

※ウィズコロナ(アフターコロナ)を考慮し、Web 会議方式での開催によるセミナー会場費等を見直します。

※来年度も会員増のため特別事業費を設定しています。

※グループ委員会の会場費として継続してグループ委員会活動費を計上します。無料の会場を利用できない場合使用します。

【第3号議案】

2021/2022 年度大学図書館研究会京都地域グループ運営委員

グループ委員(50音順)

安東 正玄 (立命館大学法学部事務室)  
内田 栞 (京都大学附属図書館)  
坂本 拓 (国立民族学博物館図書室)  
長坂 和茂 (京都大学桂図書館)  
野間口 真裕 (京都教育大学附属図書館)  
原 健治 (同志社大学文学部・文学研究科事務室)  
山形 知実 (北海道大学附属図書館)  
山上 朋宏 (京都大学医学図書館)  
山下 ユミ (京都府立図書館)  
若狭 あや (京都大学附属図書館)

監査委員

藤谷 篤 (立命館大学委託職員)

全国委員

安東 正玄 (立命館大学法学部事務室)

特別グループ委員

赤澤 久弥 (大阪大学附属図書館)  
渡邊 伸彦 (京都大学附属図書館)

【第4号議案】

グループ報の発行形態について

京都地域グループ会員へのアンケート結果を踏まえ、以下の通りグループ報の電子送信および冊子体の廃止を提案します

・廃止案

廃止巻号：2021年6月号までで廃止

冊子体の発行：国立国会図書館への納本分を除き、会員向けの発行を廃止（機関への発行はありません）

電子公開方法：京都地域グループウェブサイトにてID/パスワード方式による公開。半年のエンバゴののち公開する

ID/パスワード連絡方法：メールでの送信（変更時も同様）

地域グループ活動費については、現時点ですぐの変更はしないが、半数の会員が値下げを希望したことを重視し、今後の検討課題とする。

会員アンケート集計結果

回答者数：6名

・郵送される冊子を読んでいますか。（選択肢式）

毎号すぐに 3名



読まない時もある 1名  
気が向いたら読む 1名  
読んでいない 1名

・2020年2・4月号と6月号はコロナ対策のため、電子送信を実施しました。このことについてご意見があればお知らせください。(自由記述)

良い取り組みと思います。

知らなかった

・冊子体の廃止案について、どのように思われますか。

賛成 6名

反対 0名

自由記述

・現在冊子体の発行について、印刷費・発送費が年間一人当たり700円ほどかかっています。冊子体を廃止することでこの金額が支出から減ることになりますが、地域グループ活動費をどのようにされることを希望しますか(地域グループ活動費の変更には時間がかかりますので、すぐの変更にはなりません)

現状維持の2000円でよい 2名

500円下げて1500円とするのがいい 2名

1000円下げて1000円とするのがいい 1名

その他 「お任せします。」

・グループ報に対してご意見があればお知らせください

電子化など形式面を変化させつつ、地域グループ独自の活動を共有したり記録したりする媒体としての意味は大きいと思いますので、何らかの形で存続すると良いと感じています。

いつもありがとうございます。

編集お疲れ様です。

・地域グループ運営全般についてご意見があればお知らせください

ご意見なし

<大学図書館研究会第44回京都地域グループ総会 議事メモ・補足事項>

参加者：11名

会員の皆様にグループ総会当日の様子を知って頂くために、簡単に当日の様子をお知らせします。

各担当から、第1号議案について説明があり、了承されました。

野間口委員から、第2号議案について説明があり、了承されました。

グループ委員、監査委員、全国委員について、第3号議案のとおり選出されました。

長坂委員から、第4号議案について説明があり、了承されました。

1号議案

企画の報告を出版という形で世に出すことも大事である

研究交流活動について、会員に素案を募集することも検討している

2号議案

今野監査委員から、講師謝礼について質問があり、回答し納得された旨報告された。

質問：「大学図書館問題研究会」になっている部分がある

回答：修正する

### 3号議案

質問：「大学図書館問題研究会」になっている部分がある

回答：修正する

### 4号議案

質問：紙媒体の体裁に編集する必要があるわけでもない。電子ジャーナルのHTML形式のようにしても良いのでは。

回答：次年度選択肢として検討する。

質問：納本についても廃止を視野に入れた文面にしても良いのではないか。

回答：「会員向けの発行を廃止。国立国会図書館への納本をする際には印刷する。(その他の機関への発行はありません)」に修正する。

意見：体裁の変更は検討に時間をかけたほうが良い

質問：「メールでの送信」は会員へのBCCか、yurikamomeか。

回答：詳細は次回地域グループ委員会で検討するが、できる限り連絡漏れのないようにする必要がある。

#### ◇ 会費ご納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017年度(2016年7月～2017年6月)より、大学図書館研究会会費は、すべての会員の皆さまに、直接大学図書館研究会事務局へご納入いただくこととなりました。

一括徴収方式に移行いたしました。京都地域グループは年度継続の前に会費をご納入いただく前納があまり進んでいない状況でございます。ワンデイセミナーやグループ報は京都地域グループ費により開催・発行させていただいております。ご多忙のところ大変恐縮ですが、会費のご納入のほどよろしくお願いいたします。

**会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)/年度です。**

#### 【振込先】

郵便局 00190-2-79769 大学図書館問題研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019

■預金種目 当座 ■店名 〇一九(ゼロイチキュウ店) ■口座番号 0079769

ご不明な点は大学図書館研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)までご連絡ください。

※ 学生会員制度(試行)として、学生の方には特典をお渡ししております。

詳細は京都地域グループ Web サイトの「学生会員制度の試行について」をご覧ください。